

議 会 改 革 特 別 委 員 会 会 議 録

〔平成24年 2月17日開催〕

南 あ わ じ 市 議 会

議 会 改 革 特 別 委 員 会 会 議 録

日 時 平成 2 4 年 2 月 1 7 日
午後 1 時 3 0 分 開会
午後 3 時 3 9 分 閉会
場 所 南あわじ市議会委員会室

1. 出席委員、欠席委員、事務局出席職員及び説明のために出席した者の職氏名

出席委員（9名）

委 員 長	柏 木 剛
副 委 員 長	久 米 啓 右
委 員	森 上 祐 治
委 員	原 口 育 大
委 員	阿 部 計 一
委 員	印 部 久 信
委 員	熊 田 司
委 員	蓮 池 洋 美
委 員	蛭 子 智 彦

欠席委員（なし）

事務局出席職員職氏名

次 長	阿 閉 裕 美
課 長	垣 光 弘
書 記	船 本 有 美

Ⅱ. 会議に付した事件

- | | |
|---------------------|-----|
| 1. 第2回議会報告会の確認..... | 3 |
| 2. 次回に向けての改善事項..... | 1 8 |
| 3. 今後の予定..... | 2 8 |

Ⅲ. 会議録

議会改革特別委員会

平成24年 2月17日(金)

(開会 午後 1時30分)

(閉会 午後 3時39分)

○柏木 剛委員長 開会いたします。

きょうは主にといいますか、1つなんですけども、このたび議会改革特別委員会が主管して行いました議会報告会、これについての反省会といいましょうか、まずは最初どういう内容であったかということをも十分委員間で確認した上で、きょうの委員会の成果物としては、次回に向けての提言と、そういう形でまとまればというふうに思っております。ということでひとつよろしくお願ひします。

それでは、レジュメ、次第に沿って話を進めていきます。

まず1番、第2回議会報告会の確認ということでいろいろな生データが集まっております。若干時間かけながら、このあたりの生データ、生の意見を含めて確認し合って、そんなことを踏まえながら次回に向けてということでいろいろ議論いただきたいというふうに思っています。

資料のほうでいきますと、まずアンケート結果のほうのデータが集まっております。まずこのページについてちょっと見ていこうと思います。

右方のほうに各会場参加者数ということで書いています。これは、緑、西淡、三原、南淡、沼島の5会場、特に沼島の数字が非常に大きくておっと驚く数字なんですけども、そういうのを合わせまして合計168名の参加があったということです。

アンケート1番に問いかけですけども、あなたのお住まいはということで出席者の方に問いかけています。これを見ますと、これ全部足し算しますと、アンケートを回収したのが99人という数字になっています。ですから168名出席されて99人からアンケートが回収できたと。特徴なのは、西淡5というのがあるんですけど、これはちょっとコメントしますと、西淡会場のときではちょうど1回目でしたのでアンケートの提出をお願いしますということが余り十分徹底しなかったかと思ひます。したがって、その分の件数が少ない。ということは西淡地区の出席者はもっと多いはずでひす。ちょっとこのあたりは、数字的には西淡5人しか来てないんかというんじゃないでひす、実際はもっと来ていたというふうひに理解する必要があると思ひます。

2番目の問いかけ、議会報告会の参加のきっかけはということで聞いています。これによりまひすと、やはり議会だよりで知ったと、これを見て参加することにしたというのが圧倒的に多いかなと。このその他というのは、ちょっとこれには該当しなかったのひて来た、だれかに誘われてとか何かで来たんでしひうか、そういうことで、いずれにしてもホームページでも見た人もひるし、ケーブルで見た人もひるし、知人から紹介されたという人もひるんですけど、議会だよりで見て出席しましたというのひが多いということです。

3 目、議会報告会の内容についての感想です。これはわかりやすい 2 3、普通 6 3、わかりづらい、こんな回答が得られていまして、これで見ると限りでは、わかりづらいということが 8 ですのでまあまあわかりやすかったというふうな回答が一番多かったかなと。普通であるということですけども、わかりやすいのほうにやや偏った格好になっていると思います。

4 番、報告会の開催時間について時間的にどうですかということですけど、適当が 7 2、ちょうどよかったということです。

5 番目、報告会の開催の回数についてですけども、年 1 回ないし 2 回というのが 7 1 で、やはり出席された方は報告会については年 1 回ないし 2 回は開催してほしいということかと思えます。要らないという方は、少なくとも出席された方の中のアンケートの 9 3 名中要らないという方は 1 名であったという、こんな結果になっております。

次に、ここから先が別添のほうのアンケートの 6 番と 7 番であります。6 番、7 番につきましては、議会報告会の内容、進め方について意見がありましたらお聞かせくださいというのと、御意見、要望、感想などございましたら御記入願いますという質問が 2 つあります。この質問に対して記入してくれた方について、そのままコピーした格好で出しております。ちょっとこのあたりの意見も非常にいろいろな面で今後に向けたことが入っておりますので、ちょっとそのあたりを若干時間がかかりますけど、1 個 1 個ちょっとざっとですけど、確認していった進めて次の提案、建設的な意見につなげたらと思っています。

ちょっとこのあたりからバトンタッチしまして、久米副委員長、すいませんがちょっと。印部委員。

○印部久信委員 このアンケート結果のこの 1 枚ものの数字で各会場の参加人数というのは右の一番上段にありますね。この参加者数は、議会報告会は大体各会場、議長入れて 8 人から 9 人であったと思うんですが、例えば緑、西淡、三原の 2 2 人の参加者のカウントの中に、当日、議会の中で報告者になっていない人の出席者もこれはカウントに入るとんの、議員はカウントから除外しとんの、どっち。

○柏木 剛委員長 事務局。

○事務局（垣 光弘） 議員さん来られた人は除外させていただいております。全く市民の方の出席者です。

○柏木 剛委員長 印部委員。

○印部久信委員 いわゆる実数やな。

○柏木 剛委員長 事務局。

○事務局（垣 光弘） そうです。

○柏木 剛委員長 それでは、いろいろせっかく記入いただいたものですのでどんなことが書かれてあったかについてちょっと確認していきたいと思います。
 お願いします。副委員長。

○久米啓右副委員長 では、手書きで書いていただいている分の読み合わせをしたいと思います。

 まず緑地区から、打ち合わせ不足を感じます。⑦ですけども、税金の使い方について議会できちんとチェックをしていただきたい。安易に補正予算を組まなくてもいいようにお願いします。次、おおむね満足。7番では、人形会館、広報印刷、大学誘致などいずれも問題点がよくわかった。市当局への質問、意見が相当あったように思う。市長も市政報告、懇談会をするよう議会から勧告してもらいたい。次、報告会するには新聞折り込みを入れる。7、もっと企業団地推進を知ってほしい。きょうの意見、質問に対しての回答をもう少し詳しくお願いしたい。6、本当の声（発言）が聞こえない。執行部の言いなりの感じが否めない。勉強が足らないのでは。緊張感を持って議会があれば。7の分では、市民が主人であると言いながら・・・です。

 次、西淡地区。

 6番のほうです。同じ人の意見が多過ぎか。7番、ちょっと難しい。次の方は、人形会館建設についての入札、予算など随分いいかげんなものだと思います。入札も1社だけでしたのでしょうか、何社かの入札金額について検討したのかと疑われます。それとなぜ津波が来れば大きな被害が出るのはわかっているのにその場所に建てたのかと不思議に思います。津井の波戸さんの意見に同感。吉備国際大学もよくいろいろな面で検討して誘致したのかどうか疑問に思います。赤字財政の中、多額な金額を必要としているらしいのです。議会ももっとしっかりしてほしい。私は余り市に益があるとは思いません。学生の数も少ないし。次の方は、これからも続けて報告会を開催してほしい。開催時間をもう少し遅くしてもらえれば。西淡は7時からでした。7時30分からはどうですか。

 次、三原地区です。

 6番は、ごく普通だと思います。7番、報告会に初めて出席させていただきました。議員の方々には多忙だと思いますが、報告会を四半期ごと程度に開催すれば市民の生の声が聞かれ議会に役立つのではなかろうか。次の方、7番で、我々の質問に対して議会の皆様は応答するには限界があり、返答がむなしく感じる。次の方、議会だよりは大変読みやす

くわかりやすいと思います。ただ、南あわじ市広報と比べた場合、1ページ当たりの段数は同じ5段組ですが、1行当たりの文字数は少ないと思います。つまり文字の大きさ（ポイント）が市の広報より大きいので読みやすい利点はありますが、その分ページ数もふえるので経費増だと考えます。できれば市の広報紙と1行当たりの文字数は合わせられたらと思います。次の方です。7番で、少子化対策の実施。次の方は、6番で、質疑応答、意見・要望の時間が十分であり、参加者も積極的に発言できてよかった。7番、参加者の質問等を聞いて参考になった。このような会が続くことを望みます。次の方、6番、一通りの説明を聞きましたが、もっと勉強しなくてはいけないという実感です。以後、参加させていただくときは勉強した上で参加します。7番、議会傍聴を時々していますが、少数なり市民なりの意見がどれほど反映されているのか、市政については理解できにくい点があります。少数意見で市政が浮動してはいけないこともあります。せっかく報告会を設け議会だよりを出しているのですから、少しずつ意見（市民の）がこんなところにあられてきているというような事実がわかれば今後なお以上に報告等も意義深いものになると思います。次の方の7番、ケーブルテレビで本会議、委員会をライブで行ってほしい。インターネットで見えても切れるときがある。次の方の6番ですが、勉強になった。

南淡地区です。

7番で、議会報告の会に出席する人が少ない。次の方、7番、福良、阿万の津波対策の強化をお願いしたい。連絡体制の強化。次の方、7番で、森上、出田、原口議員が発信されているパソコンのホームページを見ている者ですが、他の議員も自己のホームページを利用して議会報告を次々発信してほしいと思います。次の方、7番です。市文化体育館の運営及び他の市文化体育館とのいろいろな面での違い。特に使用料金が低い。それと文化体育館をもっと多くの大会が行われるようにすべきだ。北阿万方向と阿万方向の通学路にある防犯灯をもっとふやしてやってください。次の方、6番です。参加者へのアンケートの内容だが、幾つかの話題の議案についてどう感じているか。問うような設問を設けて市民の受け取り方を感じ取ってもらいたい。報告会は単なる報告だけではなく、議会の思いを伝えてほしい。7番として、議会報告会は有意義、定期的にやっていただきたい。次の方、6番で、案内時にある程度テーマを絞っての報告会のほうが答える議員も参加者も内容のある報告会になるのでは。7番として、次回は誘って参加します。次の方は、6番で、今のままでよい。次の方、6番で、もっと大勢の人に参加するように努力してほしい。

沼島地区です。

7番で、高台老人ホーム欲しい。次の方、7番で、会議に来てよかったです。次の方、6番で、各論の説明は必要ない。その地区にかかわる施策、方針についての意見交換するほうがよい。次の方、6番で、意見はありません。7番で、年1回では意見交換する機会が少ないと思いますので複数回開催していただきたいです。次の方、7番で、丁寧な説明ですのでよかったです。次の方、らんらんバスの便を午前中に午前7時25分の船便の後、

昼前までにもう1便ふやしてほしい。できれば午前10時前後にしてほしい。

以上です。

○柏木 剛委員長 ありがとうございます。

これはアンケートから出てきた分を書いていた方のコメントです。

今度は各質疑内容の話があるんですけども、何か今のところでこれはというようなところ、特に後の提言につながるような話について思うところがありましたら。

続けて議会報告会の質疑ということで、これ各会場の記録係の方から出してもらった資料、データです。これについてまた同じく朗読していきたいと思います。

蛭子委員さん、朗読してもらってよろしいですか。お願いします。

○蛭子智彦委員 議会報告会、議会報告会での質疑（緑会場）。

質問者、前畠。人形会館1億2,000万円増額の理由、議会が認めた理由、後日の増額を前提とした契約を認めた理由。答弁者、小島。当初から入れておくべきと思ったが、建設しなければならないという説明を受け入れ、やむなく賛成した。人形協会や人形座の要望もあった。

同じく前畠。津波被害の危険のある人形会館を一時避難場所として人形会館を設定するのはおかしい、なぜ認めたか。小島。基本は高台避難だが、観光客など逃げおくれた方への緊急避難場所の設定、14メートルの高さがあるので安全性は高い。

質問者、坂本。ケーブルテレビで委員会中継ができないか。本会議場で賛成討論も活発にやってほしい。討論は自分の言葉でやってほしい。楠議長。ケーブルテレビで委員会中継できるよう努力している。期待してください。もっと討論が活発になるよう努めたい。全員自分で原稿をつくっている。

波戸。広報の業者は市内業者というが、市内事務所は言いわけ程度、もっと調べてやってほしい。競争で価格抑えるのもいいが、市内業者はつぶれてしまう。市内業者に仕事を発注してほしい。柏木。要望はよくわかる。よく調査をする。おっしゃるとおりだと思う。

川原。議会改革というが、全議案にすべて賛成の13人でなれ合い運営をしているのではないか。人形会館で繰り越しできないと言っていた県内産木材の補助金を繰り越しているのは矛盾。らんらんバス150万円の追加、大丈夫か。離島航路について、市の持ち出しがふえている。国の補助は当てにできない。福良の住宅の橋は大丈夫か。吉備国際大、もし撤退したときの補助金の返還はどうなっているか、パナソニックの例もある。長船。市営住宅からさくら苑につながる橋はつけないと聞いている。印部。撤退したときの補助金の返還について、校舎を戻してもらおう程度しか考えていない。執行部の姿勢は間違っている。耐震化に8億円、周辺整備に6億円の計14億円の予定の補助について、短期間で撤退した場合、相当な金額の返還を求めたい。柏木。らんらんバスは、利用収入1,00

0万円、国の補助3,000万円、県の補助約300万円、市の持ち出し700万円、合計5,000万円の費用だ。特別交付税がちゃんと入っているか確認する。

川原。ごみ収集の選定は公平・公正か。人形会館は、補助金適正化法に違反していないか。審議会の問題、市長、副市長はおとがめなしとは納得できない。イングランドの丘の1,970万円の返還、トラブル続き、議会は知っているか、チェックしているか。印部。いいことは市長、誤りは部下、それでいいのかと言ってある。副市長は「いずれ責任をとる」との答弁であった。イングランドの丘の1,970万円の返還は知らなかった。

川原。ファームを突然切って市はけんかを売った。みっともない。1カ月以内に撤去せよと言って怒らせた。未払い賃金問題で職員に訴訟を起こさせている。賠償が判決されたらどんな対応になるのか、税金で賄うのか。三セクの情報公開はどうなっているのか、決算はわかっているのか。印部。認識不足もあった。入場料収入と委託料が不明であったが明確にさせた。市がノウハウがわかったとして一方的な契約解除しているが、損害賠償になった農業公園が支払う。年700から800万円の剰余金をつくる仕組みがある。10年やってきて7,000から8,000万円の積み立てがあるはずだが、オーストラリア友好視察などかなり崩し、現在、基金が5,000万円ある。1,970万円払って、あとは3,000万円あるから、その中から払われるものということ。決算については、報告があるだけで議論はされていない。

道上。イングランド1億円のトンネル、3億円市から出ているのではないか。架空の人件費で収支の帳じりを合わせていたのではないか。粉飾決算ではないか。もっとしっかりやってほしい、議会が。長船。最低限の資料提供である。

道上。多数派をつくるための会派制は見直すべき、議員協議会でもっと活発にやって橋の料金値下げなどの運動をまとめてほしい。大学にお金使うなら橋の料金値下げに使って。海外留学も大事。答弁は要らないというようなこともありました。

それから堀井。三洋、撤退を決めたという、企業団地大丈夫か。お金を湯水に使っているが税金は今後も入るのか。長船。7,000人働く企業、撤退というのは今初めて聞いたが、企業団地あと2区画。市税ダウンは明白で大学誘致に期待している。トップセールスも大事。

不動。なぜ参加者が少ないのか、南あわじ市で大切なものは何か。議長。時節的なもの、反省点もある。今回は自主性を重んじた。今後、検討改善すべき。地元、地域が大事。

不動。体育協会がまとまらない、どう考えるか。小島。多くの人の意見を聞いて対応している。正常化に向け努力をしたい。

前畠。避難路はできているか。福良小の訓練テレビで見たが、市の情報発信が少ないのでは。お金がないのにどんどん使うのはおかしくないか。人形会館の設計は専門家が見てもおかしいのではないか、なぜ指摘しないのか。長船。避難路については、福良、阿万、丸山で着工している。1月28日の福良小の訓練は学校の自主的なもの、大いに頑張って

いる。子供に防災意識を高める成果が出ている。小島。専門家としての知識を生かしてきたつもりだ。議員の立場を踏まえてきた。事細かに注文をつけるべきでないと思っている。借金も大きく減った。水道を出したからだろうとの声があった。事業に借金（起債）は必要。

吉田。図書室、図書館の統合をやめてほしい。太陽光発電の補助の復活。小島。図書室、図書館の問題は検討、協議中。長船。大変大事なこと、頑張りたい。

道上。水道の借金はどうなっているか。530億円の投資があったはず。阪神水道企業団に入れてもらったらどうか。

それから、同じ2で、市の商工予算が2.5%では少ない。西淡町のときにはもっとあったはず。もっとふやさないと大変なことになる。議長。広域連合の問題はこれからという答弁。

それから、最後に、川原。住民投票を無視してきたということ、いろいろあったわけですが、このことについての答弁は特にありませんでした。

○柏木 剛委員長 ありがとうございます。

そしたら、続きまして、三原会場。私が記録者でしたので私のほうから朗読していきます。

まず、質問者、市川。県病移転の件は、最初の段階で南あわじ市に話はなかったのか、議会の対応の経緯はという質問です。答弁者、砂田。なかった。津波の心配等で南あわじ市議会からも申し入れしたが、県は決まっていることとの回答であると。

2つ目、坂東。県病移設で協力金等で3市の負担は出てこないかという質問です。砂田。今のところない。これからはわからないということです。

3番、西川老人会。お名前はちょっとわからないんですが、人形会館は避難所ですかということです。津波対策はという、こんな質問です。それに対して久米議員は、観光客などの一時避難所である。まずは高台に避難誘導。これ簡潔に書いてますけど、きちんと答えてはいますが、こんなことです。

坂東。新庁舎の裏とか上流の堤防も崩れている。増水時新庁舎はつかってしまわないかということです。県は三原川は大丈夫と言っているという砂田議員の回答。簡潔に書いていますが、そういうことです。

坂東さん。新庁舎の進入路はという質問に対して、砂田議員。橋の洲本側は信号機設置が無理です。淡路生コンの前から進入路をつくっていくというふうに答えています。

次、6番、吉田さん。大学誘致、投資面とか不安であると、市民目線で厳しいチェックを望むということです。これに対して谷口議員。細目協定のチェックは十分にすると。地域活性化の期待は大きいということです。

福永老人会というふうに聞きました。地震等で旧三原地域での池やダム対策が聞こえ

てこないが、市民の啓発をやっているのか、地域に合った防災を考えてほしい。これに対して谷口議員。河川、ため池等被害予想される危険箇所は地元から行政へ発信してくださいと。

8 番、的場さん。議決時欠席はなかったのか、議会ではどんなときに欠席が認められるのか、このことを公開できないのかというような、こういう質問だったかと思います。議長は、体調不良、天下御用とかは欠席届を議長が精査し許可している。

次、坂東さんが関連しまして、欠席はなかったのか、棄権と欠席の違いは、退席は許されているのかという質問です。これは原口議員が、採決時議場にいないとき棄権、退席は出席扱い、本来は閉会までであるが、体調とかやむを得ないときに認めているということです。

次、前野さんが、鳥獣被害がふえている。被害の状況を見ての対策をやってほしい。砂田議員。猟友会中心にことしも1,000頭以上駆除しているが追いつかない状況、金網等の支援があるので農業振興部へ申請してください。

次、坂口さん。らんらんバスは乗っていない。乗りたい年寄りはいるが間隔あいていとかで利用できない。市民の足になっていないのでは、200円が300円になったが、100円にしたら、また75歳以上無料を70歳以上にしたらということです。これに対して私、25年度以降は審議会で大々的な見直しを考えている。市民の声として執行部に伝えます。

関連しまして、市川さんが、バス停まで行くのが大変、行っても座るいすもない。コミュニティバスの運行の抜本的とはどんなことかという質問でした。私は、定期巡回型はニーズには即していない。デマンドバスの方向かと思うというふうに答えております。

次に、13番、吉田さん。介護保険料、来年から3,900円が5,000円に上がるということを3月議会に出すという、健康保険料の負担も大きい。議案に反対するとか、負担を軽くする意見を出すとかの動きをしてほしいということ。それに対して川上議員は、政府も税と社会福祉で迷走していると。地方議会としても市民の声としても状況を判断し厳しく追及していきたいというふうに回答しています。

14番、的場さん。延岡市の視察記事、議会だよりを見まして100億円を超える投資で65億円の経済効果とあるが、視察で得たプラス面のことも市民に発信してもらいたいというようなことでした。それに対して原口議員は、同じグループの九州福祉大学を積極的に誘致した。谷を埋めてとかの大きな工事であったと思うが、国の補助等を上手に使っているよう。住民がふえての経済効果のほか、地元との協力事業とか地域と一体化しての経済効果を出している。南あわじ市も細目協定が議会に出され、また来年度予算審議もあると。合併特例債で市の負担軽減も考えられるのでみんなで一生懸命知恵を出していけないといけないと考えているという、おおむねこんなことだったと思います。

15番、榎列老人会。議会の概要の予算説明で歳入の公債費18.1%、歳出の市債1

1.6%とある。このあたりについて説明をという話でした。それに対して原口議員ですが、借りるを少なくし、返すのをふやし市債残高は減っている。事業が抑制されている面があるかもしれないが、実質公債比率は7年で18%以下の目標を5年で達成していると。おおむねこんな答えかと思います。

16番、榎列老人会の方。人形に関連した資料館もある。人形発祥の地で大事にせないかんことはわかるが、あちこち箱物をつくるのに借金せないかんのかという、こんなことの質問でした。久米議員が、数はふえないと、県の施設を市のものにすることであると。こんな回答だったかと思います。

次、市川さん。神戸の地域活動支援センター、神戸市内の施設を使うのに各市で負担すると県が決めたなら南あわじ市も従う決まりかという、こんな質問だと思います。それに対して原口議員、利用する以上は負担するのが決まりであるという、簡潔に書いていますが、大体こんなことです。

同じく市川さん。消防とか救急等の広域で負担の考え方は。もうちょっといろいろ言っていましたけど、そういうことかと思います。それに対して谷口議員が答えまして、1つの自治体で財政に負担がかかるとき広域で負担する方式がとられる。負担が人口割とかでいろいろ市民の声があるが、広範囲で取り組むほうが支出負担が少なくなると、こんな答えをしたかと思います。

的場さん。市民交流センター、他市の事例で即日交付できるように求めたとあるがということに對しまして川上議員が、地域活性化と市民サービスの低下を招かないため市民交流センターが考えられている。設備面も考え即日交付は可能との市の回答があったということです。

最後に、市川さん。跡地利用の市の方針は、生産活動か、それとも福祉の使うのか。市は住民の意向を尊重すると言っているが、各所の考え方は今どんな状況になっているかという質問です。それに対して川上議員は、十分検討していないが、西淡では青空市場とかで地域活性化の拠点につながるよう考えている。緑は保健センターで残すとか聞いている。南淡は福良地区で考えるとしているが、まだ市の説明を受けただけで進んでいない。

大分テープを聞きながらやりましたのではしょっていますが、こんな感じの質疑があったかと。

次、南淡会場です。久米副委員長、お願いできますか。

○久米啓右副委員長 1つ目、緊急雇用で勤めるのは1年だけか。せっかくなれてやめるのはもったいない、継続は。北村議員が、国の補助金で1年間です。継続はできません。

2番、学校のクラブで文化体育館の使用が増加して南あわじ市は他市と比較して高い。2年前にいすを貸してと言ったら、汚れると言って貸してくれなかった。蓮池議員。使用料については、少年・少女の場合は申請すると安くなる。阿部議員。今後そのようなこと

のないように厳しく対応する。

3番、大学誘致について詳しく説明を。また南あわじ市単独なのか、淡路島内の他市は。印部議員。志知高校跡地に吉備国際大学が農学系統の学部を来年4月開校予定で総事業費20億円のうちで市が14億円補助する計画、南あわじ市単独です。

4番、人形会館を一時避難所にするのか、地元の人々も避難所として使うのか。蓮池議員。人形会館はみなと振興基金の補助金を使用するために一時避難所にする必要がある。主に観光客が中心である。

5番、人形会館入札で空調設備を外して入札したと聞くが本当か。入札制度で空調を外して入札、こんなばかげた話はない。議員は責任を持って仕事を。蓮池議員。当初は入っていないので昨年9月補正で入れた。地元業者で2回入札したがだめで市外業者で空調設備を外して入札し落札した。補正で増額案が出たが議会で修正案を提出して減額した。

6番、市の新庁舎、総額24億円、建屋が17億円、淡路市の庁舎が見本で、そんなプレハブ的なものでよいのか、もっとグレードの高い庁舎のほうが将来的によいのでは。廣内議員。執行部は17億円でいくと言っている。北村議員。住民説明会で説明しているので変えられないのでは。

7番、津波のシミュレーションを見たが、津波高が2倍になっての津波の対策は。長船議員。河田先生が作成したシミュレーションです。東日本大震災より想定外をなくせということのできるだけ高い場所へまず逃げてもらうことの周知をということです。

8番、新庁舎でテナントも多く入れて活性化があるのか。長船議員。執行部に質問したが、障害者の方々が販売しているパンなどのテナントを入れるが一般テナントはない。

9番、議会報告会の参加者が少ないのはなぜか。税金を使っているのにもっと参加を増加する方法はなかったのか。議長。寒さのせいだ議会に関心がないか、またみんなで検討してみます。

議会に対する意見・要望（南淡会場）続きです。

1番、大学誘致、淡路他の市へ協力を要望してください。印部議員。2月24日の執行部説明時に阿部議員に言ってもらおう。

2番、新庁舎、将来的にもグレードの高い庁舎を。廣内議員。議員の中にもグレードを上げてはという議員がいる。

3番、新庁舎内でテナント部分をつくり活性化を。長船議員。特別委員会で意見があったことを言います。

以上です。

○柏木 剛委員長 それでは、私のほうで沼島会場を朗読します。

1番、堤防が低く地震の津波対策としてかさ上げなどを早急に実施してほしい。阿部議員。全国的に国及び県のハード面の整備は期待できない。国県に要望していく。出田議員。

津波より台風高波対策で要望するほうがよいという回答です。

3番、コミュニティバスの時間帯を沼島汽船の時間帯にあわせて変えてほしい。また通勤・通院の時間帯を考慮してほしい。中村議員。反映するよう市に要望する。

コミュニティバスの75歳以上無料の年齢証明方法を考慮してほしい。反映するよう市に要望する。中村議員。

漁獲高の低下の対策として漁礁の増設をしてほしい。また鳴門からの漂流物も多いので対応してほしい。中村議員。所管委員会で問題として取り上げ要望する。

漁業組合の事務所移転について、現事務所の買い取りを要望してあるが、どうなっているか。中村議員。調査の上、要望する。

7番、防波堤のかさ上げ、消波ブロックの設置を要望する。阿部議員。国、県に要望する。

8番、漁獲高の低迷は海水の栄養素の変化によって考えられるので、下水処理場の放流水の調整によって対応してほしい。中村議員。所管委員会で問題として取り上げ要望する。

9番、震災時の避難場所として高台に屋根のついた建物が欲しい。中村議員。避難計画で十分検討する。

10番、災害時の情報収集としてNTT、ケーブルテレビのループ化を希望するが。中村議員。NTTの灘地区は今年度中に完成、CATVは要望する。

11番、災害時のライフラインの整備、備蓄食料、水の確保はできているのか。阿部議員。地震・津波対策特別委員会で対応を検討する。

12番、学校統廃合問題について、沼島地域の活性化のためにも、小学校、中学校、保育所など存続してほしい。森上議員。少子化対策などとあわせて要望を伝えます。

13番、避難路の整備、一周道路の整備を要望する。中村議員。所管委員会で問題として取り上げ要望する。

印部議員。

○印部久信委員 沼島会場はやっぱり8人行っとんのか、議員。このときの司会者はだれよ。ここの質疑の回答書見よったら、司会者の役目果たしてないですか。

○柏木 剛委員長 それは次のコメントとしてちょっとメモしておきます。その後でよろしいですか。

印部議員

○印部久信委員 司会者が所管の議員に答弁というか、我々は答弁というのが正しいんかどうか知らんけど、議員が市民の人に答えんの違うんか。

○柏木 剛委員長 司会者の役割を果たしてないんじゃないかということがあったということ。

印部議員

○印部久信委員 司会者の役割を果たし過ぎとんねん。

○柏木 剛委員長 はい、わかりました。

すいません。最後に、西淡会場、久米副委員長、お願いします。

○久米啓右副委員長 西淡会場を読ませていただきます。

1 番、人形会館入札後の 1 億 2,000 万円増額について簡単に可決されているが納得いかない。答弁者、登里議員。たび重なる増額について説明。久米議員。増額・修正可決の詳細説明。

2 番、なぜ可決するのか、大学も同じ結果になる。久米議員。追加しないと完成できない。

3 番、空調、舞台装置、電話配管がないのを知っててやっていた。久米議員。入札残でとの市の意向。

4 番、舗装工事の見積もりはどうか。久米議員。協会役員の答弁。

5 番、人形会館入場者数 25 万人の予測。これは人形会館の役員の答弁であったということです。

6 番、25 万人とはいつのデータですか、市場調査していますか。久米議員。8 万人集客できるかどうかは疑問。

7 番、大学誘致の事業費詳細、財源は。出田議員。説明は受けていない、財源調整中であるとの説明を聞いている。中村議員。事業費の 7 割ぐらいという答弁状況である。

8 番、審議会条例制定していなかった。市の執行に影響はあるのか、有効か。蛭子議員。自治法上条例制定しないといけない。報酬の問題として当時取り上げた。監査請求もあり違法の確認もとったが、裁判費用等の問題で訴えなかった。議会としては精いっぱいのもあった。

9 番、審議会「市内に勤務するもの」とはどういう意味か、住所を置くものというほうがよいと思う。蛭子議員。市内の企業に勤務する方で見識を持った人がいる場合は有効だと思う。

10 番、人形会館の今後の活用の方法を考えるべき。久米議員。いろいろ提言していればと思っている。

11 番、増額増額の再発防止にどんなことが考えられるのか、今詰めておく必要がある。責任の所在を明確に、もう繰り返さない確約はできるのか。川上議員。簡単に可決はして

いない。理解願いたい。

1 2 番、人形資料館を新会館に移転するべきではないか。登里議員。地区の合意、予算の都合等あるのではないか。

1 3 番、らんらんバスのルートについて、来年 4 月の改正では遅くないか。熊田議員。執行部に伝える。

1 4 番、人形会館の位置、そもそも建物用土地でない。液状化の心配、考え直すべき。谷口議員。福良まちづくり協議会の合意、一時避難所としては疑問も残るが、減災に向けて努力せねばならない。登里議員。現場担当者から大丈夫だと説明を受けた。川上議員。くい打ち、液状化問題、委員会に持ち帰る。

1 5 番、住民投票否決された、議員は財政状況を把握しているのか。熊田議員。将来的に有効だと判断しての議決の結果。蛭子議員。申しわけない思いもある。

要望として、支出を抑える努力を、議会もバックアップを。安全・安心が地域振興の前にあるはず。パチンコ広告と市の施設の広告をあわせるのはおかしい。是正を。大学誘致の補助金は撤退した場合に返還約束を取りつけておいてほしい。

以上です。

○柏木 剛委員長 ありがとうございます。

そういうことで生データをちょっと時間かけましたが見ていきました。いろいろな貴重な意見・要望も入っているかと思います。

次、今度は、こんなことを踏まえながら、この議会改革特別委員会として今後についてのまとめ、反省も含めながら提言につなげたいと。それを委員会としてまとめまして議長のほうに次回に向けての提言ということでしたと思います。そんな話に入っていきたいんですが、その前に、今のところの中で何か疑問なり思うところがございましたら、全般的でも結構です。

印部議員。

○印部久信委員 この沼島会場のことを見よったら、司会者というのがどんな役割かというのをわかってないさかい、議会報告会するときにそういうところを十分認識しといてもらわんと、8 人も行っとうのに 1 人が司会から答弁から兼ねるような議会報告会されたら、悪いん違うの、運営の仕方が。こんなん見たら。大勢行っとうのに所管の議員が行っとるのに必要ない。それでこの答弁を見ても、答弁らしい答弁でなしに、検討する、報告する、要望する、伝えておきますやいう答弁を何で 1 人がせんなん。こういうこと自身が議会報告をする、出席しとる議員の認識不足も甚だしいさかい、ここらをもうちょっと話しかんことにはよ。その本人の意見もあって発言しとんならええけど、要望します、伝えておきます、検討しますやいうことは、所管が当然たしかあれば 2 人から 3 人は入っとるはず

やから、所管の議員が言うべきであって司会者がすべて取り仕切っとる運営の仕方はいかなもんかと思います。

○柏木 剛委員長 わかりました。

司会者の役割は、本来は全体の進行係ということですので答弁はできるだけ委員のほうにしてもらうべきじゃないかということの御意見かと思います。これについてももしよろしかったらどうぞ。

久米副委員長。

○久米啓右副委員長 印部委員の指摘のとおりだと思います。やはり司会者の役割は大事だということは議会改革でも取り上げてましたので、やはり司会者は司会に徹していただいて、それぞれの委員会の委員さんもおられますので、その辺は大きな反省点として、次回もし開催ということになれば反省点としたいと思います。

○柏木 剛委員長 森上委員。

○森上祐治委員 今、印部委員おっしゃてることは、私も会に出席しとって所管の件については答弁せないかんと腹くくったんですけども、ただ、沼島会場は要望的なことが多かったんですね、具体的に。だから、本来はそういう要望的な内容であっても所管の議員が行とうから当然司会は振らないかん。ところが司会者は全部要望やと受けとめて、私もこれちょっとおかしいなと、ほかの議員何も発言する機会がないなと思いながら終わってしもうたんです、正直なところ。だから、それはやっぱり4人から8人にふやして行っとんやから、やっぱり司会としたら所管の議員にまず振っていただきたいなというふうに、また本人にも伝えます。

○柏木 剛委員長 阿部委員。

○阿部計一委員 これは中村議員のフォローではないんですが、実は前も行ったときもですが、11時55分の船で1時から始まると。それで2時40分に乗らなんだら今度4時しかないというようなことで、これはそういうことを我々も指摘して司会者に言わないかんねやな、そのときに。たまたま私近くにおったよって2回か3回発言、森上議員もその隣かな、出田議員がその隣で、ほかはもうほとんど答弁ないというか、中村議員も時間がかかなり2時40分に乗りますから、それにあわせて頼みますというような司会しよったんでな、それで言うより我が答弁したほうがええというような形になったんやと思います。しかし、これはちょっと異常やったと思うんで、これは参加者全員にも責任がある問題で

すので。

○柏木 剛委員長 印部委員。

○印部久信委員 それと所管の議員が当然おるということと、それと県に要望します、市に伝えます、どこへ要望しときますと言うだけのことだったら市民の人が寂しい思いすると思うねん。実際所管に置いたら、何らかの形で答えは出てないけど、そういうことも検討しようかもわからへん。そやからここはやっぱり所管に言うて、所管でもそういうことは検討もしましたがというような仮に一言があつたら、市民の人もやっぱり我々のことも委員会で取り上げてくれとんのでないんかということもあると思うんやな。それがもう全く司会者が、はい、市に言います、国に言います、ここへ言います言うたら、今まで何にも取り上げてなかったように感じる可能性があるねんな。やっぱり所管では多少なりとも検討しとった、協議もしとったけど、こうやけれども、答えが出てないけれども、国、県にも要望しますと言うたったほうがやな、実際それがやっとなだったら、やっぱり市民の人も議会に対して信頼も出てくると思いました。

○柏木 剛委員長 森上委員。

○森上祐治委員 特に沼島の場合は多いねんけども、結果的にまとめなんで1行だけで、結論から言うたら、要望しますとなつたけども、その経緯については、審議の経過とか所管の委員会の審議状況と若干司会のほうも経過を述べられていましたので、結論から言うたら、もう一言で県に要望します、県のことやからと、そうではなかったということです。

○柏木 剛委員長 阿部委員。

○阿部計一委員 それとほとんどがやっぱり町内会を通じて執行部のほうへ要望しとる。ほとんど100%近いやつやと。それを言うて議員さん応援してくれというような内容がほとんどやったと思います。そやからほとんど要望であつて、市長、副市長にまちづくりというんか、そこらで言ったことをほとんど言いよるような状況やったんで。

○柏木 剛委員長 印部委員。

○印部久信委員 そやからその議会報告会というのをどんなとらまえ方するかということが大事なんやな。結局、今、阿部委員とかの言う話を聞きよつたら、もう既に執行部に自治会長を通じて要望してあると、議会報告に対しての意見と今度は地元の陳情を酌み取

る会みたいにもなるわけやな、ここらを議会報告会というのはどんなような位置づけしていくかということやな。地元の要望を聞くというのは、議会報告会という名前と今度はちょっと整合性がないさかい、そやから今度は議会報告会を兼ねて地域の要望を聞くという題名であれば整合性があるねんけど、我々はあくまでも議会報告会という名のもとにやるよって、実際最終的には地元の要望、陳情を受け付けるというようなことにもなる可能性があるねんな。そやさかいやるのであったら、議会報告会へ8人、10人そろって行った場合、どういうところまで吸収していくか、単に議会に報告して議会に対する質疑だけで終わるんか、いわゆる地元の悩み、要望等を一応答えは出えへんけれども、陳情を受け付けてくるという、沼島の場合は特にこんなような傾向がいつも強いねんから、そこらまた次もやるんなら、皆がやらんかと言うなら、そこらを十分検討しとかんことにはと思います。

○柏木 剛委員長 そしたら問題は、今もう大分そっちへ入っとなですけど、2番のこれについての改善、次回に向けての反省を踏まえた改善という話に、これはいろいろ自由に意見を出していただきたいんです。時期の問題、報告内容の問題、あるいは質問及び意見要望への答弁方法、あるいは各種団体への参加要請等の事前案内方法、その他準備関係等々書いていますけど、その他いろいろ今言われたようなことについてそれぞれの役割とかということも含めたり、そもそもの位置づけ、内容的な位置づけというようなこともあったかと思います。そのあたりをちょっと1回ここで休憩をおきまして、それでいろいろもう自由に、これが一番のきょうのポイントで、それをまとめて議長に提案するという格好にしたいと思うんです。次回へ向けての提言ということで。それがきょうの成果物だと思っていますので、ちょっと休憩を挟みましてやりたいと思います。

35分から再開したいと思います。

(休憩 午後 2時25分)

(再開 午後 2時35分)

○柏木 剛委員長 再開します。

いよいよこれからこの委員会としての討議ということで本格的にいろいろ御意見を、特にこれはこの開催の是非も含めていろいろ議論を思うところも、時期がどうかいろいろありますけども、ランダムで結構ですので、これやった結果、こう思うということについてどんどん御意見出していただきましたら、それを踏まえていろいろまとめて議長のほうに提案したいと思いますので、どんどん思うところを言っていただければと思います。

印部委員。

○印部久信委員 とにかく去年とことしとやってちょっとひっかかっとうことが1つあんのやな、常に沼島というところを配慮していつもやりよんのが本音やけど、旧町に分けてやって沼島ということをや特別扱いの配慮するというのは非常にええことやと思うねんけど、そしたら配慮するねんやったらもっと配慮せんなんことがあるんでないかと思うんよな。例えば緑でやっても倭文はいつもやってない。それから西淡であっても阿那賀、丸山、津井とかいうところのほうはどないするのかと。沼島で言うたら、また次、灘はどないするのかということになって、旧町ごとに仮にやるならやるで旧町ごとでやるのはほんでええねんけど、別枠1つ、ここはこういう条件やからここは別枠でやったらんかという配慮はあんの構わんねんけど、あんねんやったらほかにも配慮せんといかんのじゃないかと思うんやな。何でも一緒、旧町ごとでやらんか言うて旧町ごとで1カ所ずつやったら何じゃ問題ないねんけど、1つだけこういうことをつくったらほなほかどないなんのかということが、やっぱりそこも考えたらんといかんのでないかと思うんやな。同じ南あわじ市の市民の中で沼島ということをや特別的な意識を持ってやんねんやったら、それに近い地域もあるはずなんやな、そないしよったら今度線引きが難しくなる。そこらをやったら、何も沼島ということをや何のために行きよんのかと言ひよんのん違うんやで、配慮するんならほかにも配慮せんといかんのん違うんか、線引きが難しなるという、そこらがあんねんな。そやからそこらをや今後やるんならそういうことも考えて、旧町ごとに1つやというんなら1つ、配慮するんならほかにも配慮することを考慮したらんと、やっぱり特に西淡、さっき言うたように、阿那賀、丸山、津井、伊加利、出席者名簿というのはとってないさかい住所までわかりにくいと思うねんけど、ほとんど出席できてないん違うんかなという予測するだけやけどな、特に緑の場合でも倭文の人は何人ぐらい来とったんかなというようなことを思うんで、そこらも。

○柏木 剛委員長 今の件について。
森上委員。

○森上祐治委員 今の件と違うねんけど、今後に向けてなんですけど。アンケート結果の2つ目、議会報告会参加のきっかけ云々のところで、私は南淡と沼島、それと西淡は傍聴で行ったんですけども、特に南淡と西淡は昨年の印象からしたら、がくんとやっぱり参加者が減ってましたよね。どこかで議長も聞かれて答弁しとったけども、天候のぐあいもあるん違うかというようなこともあったんやけども、特に西淡と南淡は去年の半分も参加者がなかったように思いました。

特に南淡の場合を見てましたら、ある程度人がおらんので、私の地元の阿万見よったら、やっぱり町内会長さんが五、六人来ておったかな、それと元の南淡町の議員さんとか、ほ

んまに自主的に来とる人がどんだけいらっしやったんかなと、頼んで、何らかの組織を通じて町内会長さんとか各種団体長さんに発送してお願いしようと、そういう努力はしとるんですけども、それ以外でほんまに自主的に議会広報読んでとかかなりおりましたけども、果たして一遍目やってことし2回目、やっぱり議会報告会というのは市民から見たら余り魅力がないんかなというのが素朴な私の印象であります。かといって関心がないからやめると、そんなんじゃないしに、やっぱり我々これは続けていくべきであるだろうし、それならば市民の期待にこたえるような持ち方をやっぱり我々、今後、次のあれに向けて具体的にやっぱり厳しく反省せないかと。

このその他の53というのは大体頼まれて行ったってくれよというようなことで来たん違うかなと思うし、あとの人たちも果たして自主的に来られているのも少なからずおるんだろうけれども、ちょっと数からいうたら魅力がないなというような感じがしました。

○柏木 剛委員長 もう少し魅力ある期待持てる内容を考えないといけないという、そんな御意見ですね。

印部委員。

○印部久信委員 今の森上委員のあれやけど、去年の市政の状況とことしの市政の状況とちょっと違うねんな。去年の場合はちょうどあの時期は庁舎建設の住民投票の運動が起こってあったときであったと思うねんな。そしたら当然、市民の関心度が高いテーマがあったわけな。その証拠に3月議会はだれも頼んでないのに傍聴者が結構大勢、五、六十人來とったん違うかな、あれ。議決のときの。本来あれだけの傍聴というのは議会ですらなかった。それからやっぱり市の中の市政において市民に関心の高いときはおのずからふえるんであって、やっぱり状況にもよると思うわな、市政に対する関心の高さ。

○柏木 剛委員長 森上委員。

○森上祐治委員 わかるんですけども、とすれば去年はちょっと南あわじ市としては特別なそういう条件下での報告会であったと。去年は特別だと。とすればこのたびは市民の意識の平均的な形が出たんかなと。とすれば、例えば西淡で31人、余りにもこれは住民の数が少な過ぎへんかなと。やっぱりそれはちょっと我々訴えるものが弱いんかなというような感じがするんやけどな。

○柏木 剛委員長 印部委員。

○印部久信委員 我々は議会からの発信が弱い、強いというよりも、市民の市政に対す

る関心というのは我々が想像しとるよりも低いん違うかなと思う、私は。関心さえ持っとったらこんなものは大勢来てくれると思うねん。関心が低いさかいにお願いしたってもわざわざ聞きに行こかということは少ないん違うかな、関心さえあったら、広報に載つとる、何に載つとるだけで関心を持っとる人は来てくれると思う。自治会長とかいろんな人を通じてあるさかい行つたってよというような声がけせいでもほんまは来ると思うねんけどな。やっぱり国政であつても何であつたつても政治に対する党派層があれだけふえていっつとるという状況の中において、南あわじ市の市民も、我々がこういう言い方をしたらいかんのかもしらんけど、我々が思うとるより低いん違う。

○柏木 剛委員長 森上委員。

○森上祐治委員 そういう市民の関心の低さはわかんねんけども、例えばこの南あわじ市民、講師によつたらほついてもどつと人集まつてんねん。というのは、10日ほど前か、阿万で武田信一先生という高校の先生の講演会があつたんや。神戸新聞の淡路面をちらつと、わしもそれ見て行こかと思って、淡路の阿万族の何とか何とかやいうてやな、淡路の島民のルーツについてのと。あの寒い日だったんやけども、行つたら、きょうは二、三十人かいなと、多てそんなんかなと思つたら、80人ぐらいいて、公民館のほうが後でいすをやな、やっぱり講師の先生によりおもしろそうと思つたら天候や関係なしに来るんやなど。

○柏木 剛委員長 印部委員。

○印部久信委員 そやから関心の問題やと。そやさかいにその講演に対しては、講師がだれかということに対して関心があるさかい行きよる。やっぱりそれだけの意識が高いさかい行きよんねん。だから議会に対して少ないということは、議会報告に対する市民の皆さん方の意識が低いということなんやな。それかというて議会報告に有名人引き連れて行くわけにいかんでしょう。そやさかいやっぱりそれはもう意識の問題やさかいの、婦人会の講演会であつても何の講演会であつてもテレビに出とる名の通つた人が来るや言うたらほついても来るようなもんねか。

○柏木 剛委員長 何か今の件で、それについて次回につながるような提言というのは、それでなくても結構です。

熊田委員。

○熊田 司委員 1つは、今回、時期的に2月という寒い時期であつたというのが1つ

あると思うんです。それで内容が12月定例会を受けてと、これがまた決算とか予算やったら多少また内容的に違うものがあったんではないやろうかという思いがします。開催時期にかかわってくると思うんですけども、そこら辺もやっぱりある程度考慮してやってみたほうがいいのでは。例えば予算の終わった後とか決算の終わった後、ここら辺になってくるときちょっとした数字が出ていますので、それに対しての市民の意見もいろいろと言えると思うんですよ。12月の定例会の内容でしたら数字的にどうこういうのは余りないし、市民の関心のある内容もそうなかったかもわからないんで、そういう点では時期なものを考えてみたらどうかという思いがします。

○柏木 剛委員長 阿部委員。

○阿部計一委員 私も自分も議員として情けない話ですけども、全国的に地方分権とか、特に地域主権というのはごっつい進んできて、極端に言うたら、議会不要論やいうようなことが叫ばれてきよるわな。そういうことで私ら議会へ出てきたというのは、南淡町どない変えたらかい、そんな大きなことを考えるというか、それは町長がおるんやから我々は議員としてきめ細かなほんまに小さなことをぼつぼつとやっていくというのが議員やということで、今もそういう活動しよんねんけども、そういうこともあんねんけども、議員としたらそれぞれ皆さん個性持って活動しよると思うんやな、そやから全体的にそういう議会不要論やこうや言よっても、そやよっていうて何もパフォーマンスをして何がなんでもこっち向かすんやというような、私はする必要はないんでないかなと思います。

議会報告会不要論とは言いませんけど、2回やった中で余りにも特定の人がそういう市政批判、また議員批判というか、そういう声が特定されて、特に緑なんかもうそういう三者そろって欲求不満を爆発さすような会やったわな、はっきり言って。ああいうようなことになるんであればほんまにちょっと考えないかんのも違うかなと、私はこないと思います。

○柏木 剛委員長 蓮池委員。

○蓮池洋美委員 これだけ関心のないところへ、議会とはこういうもんやというのを知ってもらうために出向いて行って一生懸命報告会しよる。結局のところ行ってみたら中には御用聞きみたいなもんがあんねんな。一般の人が実は議会とはこういう立場ですよという二元代表の話をしていてもなかなかわかってくれる人少ない。その中でやっぱり地元の要望をいわゆる注文聞きみたいな格好の中で議会に接してきてくれるということを考えてみよったら、何回も以前から言いよんねんけど、広報広聴あたりでもっと長いスパンで、さっき印部委員言いよったように沼島の問題、もう地域でなしに各地区を回ってあげると、それで議会とはこういうもんやでと、それを兼ねて実はその地区の中にもあの自治会長好

かんので自治会長に言うていけへんねんと、そやけどこんな問題抱えとんねんというのは個人には言うてくる。そういうふうなものを地区で開いてあげたら、市の要望に対する案件が議会を通じて言うてくれやという機会にもなんのかな。それによって議会というものはこういうもんやというものを知ってもらう糧になんのかなという思いがあって、もっと長いスパンでやってみて、例えば予算や決算やあるときにでもどっかへ行って説明しよるというような機会もあってええのかなと思ったりするので、できたら地域でなしに地区を回ってあげるということも今後ええんでないのかなと。広報広聴の人だけにせいよというんではなしに、企画をしてもろうて足らん分についてはそれぞれが応援していくというような格好でしていくほうがより身になんのかなと思うねんけどな。

○柏木 剛委員長 原口委員。

○原口育大委員 今回5会場一応全部見せてもうたんですけど、やっぱりやることによって議員も勉強するというか、認識が深まるし啓発されたなという感じがありました。だからぜひ続けていきたいなというふうに思うんですけども、きのう、おととい広報広聴で常任委員会にしておるところを2カ所行ったわけですけども、それぞれ今言われたように広報広聴が裏方になって、あるいは表へ出て議会報告会的なことをやっておるところのことでした。例えば出前的なことで団体とか地域から要望があったところへ出向いていくという方法でやってるところもありました。今、伊賀市であったり、京丹後であったり、淡路市であったり、かなり班分けを多くして小さいとこまで入っています。でも実際出席者が1人だったり2人だったりのとこも出てます。そこら辺を今から見きわめながらですけど、適当な規模としたら、僕は小学校区単位ぐらいで、それも満遍なく行かないかんというんじゃないしに、ある程度テーマを持ってそこへ入っていくとか、ニーズがあったら、そういう団体との交換会を持つとか、そういう役割をぜひ広報広聴にでも持っていただいて、裏方としてやっぱりあくまで報告会自体は僕は議会が行くべきやと思うんですけど、裏方というか、広報広聴の中でいろいろお手伝いというか、段取りをするというふうなことを考えていいん違うんかなと。その吸い上げた意見とかをどういうふうに反映していくとかか、そういうところをしっかりやってPRすることで市民の関心とか期待とか高まるように持っていかなことには、今の現状というのはやはり議会に対する関心も薄いし期待度も低いというので集まってこないと。

もう1つは、時期的な問題としては、定例的にやる分はやはり今、熊田委員が言われたように11月ぐらいに9月決算を受けてやって次の予算に反映さすというぐらいの時期が一番ベストかなとは思っていますが、それ以外にも要望があったらデマンド的にやるとかいろんな方法を今から考えてやればいいというふうに思っています。

○柏木 剛委員長 何かほかにありますでしょうか。
森上委員。

○森上祐治委員 今の蓮池委員とか原口委員のもう少し小学校単位とかでやるのが望ましいんじゃないかと。私も常々内々そういうふうに思ってます。前も話したかもわからんねんけども、我々教育界ではロバコンという言葉が一昔前までありました。炉端懇談会と言いまして、やはりPTAの総会みたいな大きなやつだったら本音が出てけへん。親は今何を考えとんのかと、そういう先進的な頑張っとる先生方は地域に入って行って、夜、冬に炉端を囲んで10人や5人やの中で話する中でしっくりと話できよったと。だから5人や6人ぐらいの話だったら、あないして口角泡を飛ばしてがんがん批判というのはまずせえへん。いろいろ思いがあってももっとしっくりと話できるように、そういう雰囲気、前、大同さんか、京丹後市の議長さんも来てここで我々勉強しました。あのときも2人や3人の会場もありますと、それでも行くんですとおっしゃってましたよね。それでもええと思うんですよ。要は生の声を本音を少しでも聞いたら勉強になる。我々近所のじいちゃんやばあちゃんと話ししよって、こんなこと考えとんねんやなと、わしら全く気のつかんことを教えられることがあるんやけども、そういう形に向けた議会報告会を何とか努力していきたいなという感じがいたします。

○柏木 剛委員長 何点か出てますが、あとどうでしょうか、質問に対する答弁というんですか、答え方とか、その辺について何か、もちろん司会者のお諮りもあるんですけども、今回を通してどんな感じを持ったでしょうか。あれでいいのかどうかという、あんな感じかなというのかどうか、答弁方法とかについて何かありますか。
久米副委員長。

○久米啓右副委員長 今出た広報広聴特別委員会とか、あとは小学校区単位での話をもうちょっと突き詰めたほうがええかなと思うんです。

今回の委員会で私、広報広聴の委員長をしておりますので、広聴活動の一環として引き継いでやるような話もちょうと出してみよかなと思ってたんですが、委員の方からも出していただいたし、規模についても小学校区単位というお話もありました。ですから御用聞き言うたらあれなんですけど、そういう要望等もやはり広聴活動の1つですので広聴活動で各地区を回っていくと要望等は素直に聞かせていただいていけるんじゃないかというようなことで、規模についてはまた検討いただきたいんですが、ただ、重要な案件、例えば去年、おとしですと新庁舎に関することだと、やっぱり議会が議会報告、あるいはということをやったらいいなかなと思うんですけども、ふだんの活動としては、もう少しこじんまりしたほうがいいかなという印象がさきの視察でも受けたんで、その辺ちょっと突

っ込んでやってももらえませんか。

○柏木 剛委員長 どうでしょうか、結局それはもう開催の場所、会場の数、5会場かどうかというような話になってくるかと思うんですけど、何かそこについては意見ございますか。

原口委員。

○原口育大委員 最近、常任委員会も結構現地へ入って調査してから帰ってきて委員会開くということもされるようになってきてますので、そこら辺とのすみ分けとかも考えながらせないかなのかなというふうに、今まだちょっとまとまっていませんけど、そういうふうに思っています。

だから、広報広聴も今回伺ったところも、各常任委員会から2名ずつ出て広報広聴を構成しとるというような中でやってるともありましたし、そういうことでの対応もかなりの部分はできると思うんですけど、やはり委員会が直接出向くというのはまたちょっと別のレベルでもあると思いますし、やはりデマンド的にニーズも聞きながらやる部分と定期的に議会としてやる部分と、そこら辺を今からちょっと検討していかないといけないかなと。ただ、機会としては今からほんまに委員会活動が活発になるほどそういうこととダブってくるようになくと思うんで、その整理も要るのかなというふうに思っています。

○柏木 剛委員長 阿部委員。

○阿部計一委員 きょうは反省会やな、特別委員会やからここで詰めていったらええねんけど、いろいろ2回やって問題点も浮き彫りになってきた。そんな中でちょっと様子を見るということもよ、ここでまた次どうこうやいうことを決めてしまわんとよ、私らたまたまああいう好きなことを言う住民の人のときに答弁におらなんだけど、そこまでくそかすに言われるいわれもないし、私がもしそういう立場やったら、ほんまに不謹慎か知らんけど、反論もするし、そらそんなこと言われるいわれもないし、そら言よる人間もそれぞれすねに傷持った人間もおるし、そんな議員がくそかすに言われてやで、たまたま答弁者になっとらへんけども、そういうことが想定されんねんから、今後な。そやからああいうような形でやるんであれば意味がないと思う。ここで早から次のことどうこういうことを決めるのは早急でないかと私は思いますわ。

○柏木 剛委員長 その辺はどうでしょうか。結局もう特定の人が欲求不満のはけ口じゃないですけども、議員批判、そういう場になってしまうのであればということですけど、何かそれに対して逆にこうすればというような、もちろん反論的な話もあるでしょうけど、

何かその辺どうでしょうか。一番ポイントの部分かと思うんです。皆さんお感じの分はその辺が大きいと思うんですけど。

久米副委員長。

○久米啓右副委員長 今の阿部委員の話題についてちょっと私の意見を申し上げますと、やはり緑会場では意図を持った参加者が数名おられたんで非常にああいうちょっと紛糾した感じになりましたが、私の印象としては、そこそこ司会者がしっかりしていただきたいという印象を持ちました。私、マイク持ちでおりましたんですが、手挙げた人も指名されなかったし、だれにマイクを持っていったらいいかわからない、みんなわあわあ言い出すというようなことで指名してくださいと私から司会者に要求したんですが、声もなかなか小さいということで、あの辺は質問された方が、例えばちょっと具体例を出しますと、裁判で負けたらどないするんとかって言われたところで、裁判に勝ちも負けもしてないし、もし負けても議会に提案するやせえへんやもわからへんし、その辺議会としては答えようがないわけですね。そういうのはやっぱり司会者のとこでやはりとめる仕事があると思うんですよ。それを黙ってそういう矢面に立たされた議員さんがあって議員が非難されてしまったということで、我々としても非常に何というんか、腹立たしいというか、はっきり言うて司会者はもっとしっかりせいという思いがありました。ですから今回は議長経験者をお願いしたんで会場によってはばらつきがあったんですが、やはり会場のそういう司会者のやりとりの均平化も図ってですね、ある程度そういう無理な質問に対しては排除していただきたいと、そういう形をしっかりとやっていけばもっと安定した議会報告会ができたのではないかと思います。

○柏木 剛委員長 司会者の役割でもっともっと状況を見て、とめるならとめる、切るなら切るというようなことをもっとやるべきじゃないかというような話ですね。

久米副委員長。

○久米啓右副委員長 もう1つ私の思いもというんですか、西淡で人形会館についてかなり質問をされまして、私、資料持って行って事前に人形会館については読んだり、ちょっと見たりしておりました。ですから別に執行部の代弁をするつもりはないんですが、一応議会としては全体としては議決をしていますので、議決した理由とか意味合いについてやっぱり答弁する義務があるかなということです。ですから参加する議員としてもある程度の事前の勉強とか資料を読んでおくとかはしておく必要があると思うんです。そうでないと何も準備せずに議会報告会に参加して質問があったときに思い出し思い出し答弁すると思うんですけども、やはり的確な答弁を市民は望んでいると思うんです。ですから理論武装と言うたらちょっと言い過ぎですけども、事前の勉強も議員としては必要かなと

思います。

○柏木 剛委員長 蛭子委員。

○蛭子智彦委員 議会報告会というのは、結局活発になるというのは、言いたいことがあるというような、こういう市民が多くふえるほど活発になると思うんですね。前のときは新庁舎という問題でかなり言いたいことをたくさん持ったと。それが終わってしまって今現状で人形会館という問題もあるんですが、結局これは何を言うても一緒だというような印象を持たれとったら、何を言っても仕方ないというような印象にもし市民がなるとしたら、それだから少なかったというわけじゃないと思うんですが、やっぱり行って発言したことが市政に反映をしたり流れが変わったりとか、何かあれば期待感が膨らんでくるのかなと。どうせ行っても結局言うだけかみたいなの、言っても一緒だみたいなの、こういう何となしにむなしさがあってはいけないなと。だから今回いろんな声が出てますが、既に終わったこともたくさんあるので、これは仕方がないにしてもですね、今後にかすべき点というのをもたくさんあったようには思います。

ですから、後のほうで出てくるフィードバックという話ですけども、言葉として返す分はあるんだろうけれども、市政の中身でこういうことが変わったよというメッセージが市民に伝われば、非常に抽象的な言い方で申しわけないんですが、議会報告会の中身がまた変わってくると。それはすべてが市民の感情の中で出てきてるものもあるので取り入れるべき内容のものとそうでないものとあるのかもわかりませんが、それは議員個々の受けとめというのもあるかと思いますが、実際にやはりそこに出て、こういうことを発言して、こういうことが変わったということが数多く今後生まれるようにできたらいいなというふうに思っております。

○柏木 剛委員長 フィードバック、それと言われた意見が少しでも市政に反映して変わってきたということがあれば、この意義も変わってくるという、そんなお話ですね。

暫時、休憩します。

(休憩 午後 3時10分)

(再開 午後 3時15分)

○柏木 剛委員長 再開します。

いろいろ意見が出てきました。私も何点か5つ、6つにまとめられるかなと思うんですが、何かほかに思うことがありましたらちょっと出していただけたらと思います。次

回に生かすという面での反省点がありましたら。

阿部委員。

○阿部計一委員　　大体見よったら、皆前向きに続けて、そら続けてやることには大勢の意見が多ければそれでええねんけど、やっぱり骨格はここで決めんなんか知らんけど、やっぱり全員協議会でもいろいろ言いよる人もおるからね、やっぱりそういう全体的な空気も見た中でやるんだったらやる。どういう方法でいくとか、蓮池委員が言いよったように地域を細かく回るやいうこともこれはええことやし、それはここではいといくんじゃなしに1回そういうことも。

○柏木 剛委員長　　そしたら話をちょっと前へ進めます。

3つ目の話はこれからどうしようかという話につなげようということです。

まず1つ考えてますのは、いずれにしてもこの意見要望というやつを生意見を、これ議員には全部共有したいと思っています。ですからこの生は生で配付したいと私は思っていますが、その後、これは執行部、あるいは議員のほうで改革委員会からのまとめということはあると思うんです。前回やったようにそれに対してどんなアクションとるかということのまとめはしないといけないと思っています。

質疑分及びアンケート分に対するまとめ、これはやる必要があると思っています。その上でもう1つは、今いろいろ意見出していただきました。次回に向けての提言、これは広報広聴委員会が所管するというようなことも含めて、やっぱりそもそもこの議会報告会は、開かれた議会というようなことを目指す上で必要であるというようなことを含めながら、それらの提言を1回、ただし、そのときにはいろいろ課題があって、こういうことを次回には考えないといけないという格好でまとめようと思っています。それが2つ目のまとめです。

それを全協のタイミングを見てやっぱり出すべきだと思っているんです。全員協議会の中でこの改革委員会、もちろん議長に出して議長から出してもらう格好になるかと思うんですけど、それはしようと思っています。当面そんなことはいずれにしてもこの委員会としてやる必要があると思っていますが、その辺のこれからのアクションについて何かコメントありましたら。

印部委員。

○印部久信委員　　そら委員長言いようことは、今回したことについて委員会としてそういう取りまとめをするということは大事なことやと思う。それはそれでええと思うねんけど、さっきから阿部委員も言いよったように、今後こういう形での議会報告会を続けていくんか、それとも蓮池委員が言われとったように、議会報告会、いわゆる報告、市民から

の要望、広報広聴委員会が主体となってそこで企画立案してもうたものについて、皆すべての議員に対してこういうような協力体制でやってもらうというような方向をとっていくのか、それとか、今4会場、5会場でやりよるのをきめ細かく小学校区単位でやっていくと、こちらから入って行ってやっていくと。仮に私が思うのに、小学校区単位で議会のほうから入って行ってやっていった場合には、今までのやってきたような議会の批判、誹謗、中傷、反発もあるかもわからんけど、今までのような罵倒、罵声やいうのは少ないようにも感じんねん、直感的にな。少ないんでないんかなと思う。そのほうがきめ細こうてより広報広聴、特に広聴やな、ことを聞けるんでないかと思うんやな。それで今の広報広聴特別委員会をそこまでの委員会活動をやるんならもう一層常任委員会化にしたらどうかという意見も議論として出てくる可能性があると思う。そういうところから一遍基本的に考えていったらどないかな。

○柏木 剛委員長 そういう意味じゃ確かに開催の是非についても最初に触れないといけないと思うんですよ。だから委員会としては開くことが望ましいというのかどうか、そういう格好になるのか、それとももう少し2回やったんで様子見るというのかどうか、やり方かと思うんで、その辺のことも含めた格好で1回まとめないかんと思うんです。ただ、いろいろ役割の問題もありましたし、開催場所の問題もありましたし、開催時期の問題もありましたし、いろいろ問題を今全部出していただきましたので1回それは整理してみたいと思うんですけど、何かの格好でその辺を整理して、できれば委員会としてはこういうことが望ましいと。そして次回は主体を広報広聴委員会のほうでゆだねるという格好での提言という格好にしたいと思うんです。そういうまとめはしようと思うんですが、是非については委員会としてはなかなか全体としてどうでしょうかね。

原口委員。

○原口育大委員 今終わったとこなんで、とりあえず次の全協に向けてはどうか、議長に向けての答申もせないかんと思うので、今回のまず出た意見とか要望とかも取りまとめたあかんわけですよ。だからそういうのを取りまとめる中で、次どうするかという課題、今回出た課題ですね、いろんな今出たような意見の課題をまず箇条書きにでもして明確にさすということと、それと方向性についても今何ぼかの方向性が出とるんで、それもやっぱり委員会としてこういう方向性が考えられるということ整理して議長にまず報告するなり全協に報告するという必要がまずあるんかなと。

その中には、1つは、今回出た中で所管事務にかかわることを前回もそうしたんですけど、常任委員会ごとぐらいのものに分けてまず整理しました。1つありました。あと出た意見の中には、本来、報告会で出てきても、さっき久米委員が言われたように答えられないような所管外れたような話とかちょっとあったと思うんで、それもあえてやはり一たん

ピックアップして共有した認識として持ってないと、また今度同じような立場の質問が出たときに、それを司会進行がそれは切ってええんやというふうな認識もやっぱり持てるようにするためには、今回出たやつをもう1回これは答える必要なかったん違うかなとかいう部分もやっぱり検証しとかなあかんのん違うかなというふうに思いました。生の声は全部議員に渡すという、柏木委員長が言われた、これはまずせないかんと思うんですけど、とりあえず委員会として課題と方向性について分析したものを次の全協なり議長に出すということがまず要るん違うかなと思います。

○柏木 剛委員長 蛭子委員。

○蛭子智彦委員 結局これは継続するということにおおむねなってると思うんですね。やらないということじゃないと思うんです。継続するということになれば、どっかが請け負っていかなあかと、それは広報広聴委員会がふさわしいということは前提にあると思いますので、その内容、やり方の問題については、いろいろ教訓を引き出して改善することいいと思いますが、委員会の方向性としては、やはり継続ということと広報広聴委員会でやるということ。それで広報広聴委員会でやるとしたらやっていける条件づくりということが課題になるのかなということが1点です。

それと先ほどの緑での農業公園の問題、裁判中の問題だから答えられないというような話、ちょっと今、委員の方から出たんですが、私、まとめた原稿、発言の内容を冷静に聞いて冷静にまとめたつもりなんですが、印部委員のおっしゃっていることも的確であったし、またこの問題については常任委員会でも質問もされている中身であったので印部委員が答弁できたんだろうと思うんですね。ですから決してこれは答えられないような話じゃないという、答える前に既に委員会でも議論もして、答えも一応持って、そしてそのことについては的確な答弁であったので質問者も納得したというのが冷静な流れだったというふうに私は思うんですよ。久米副委員長がちょっとどんな印象を持っておられるのかちょっと私は。このやりとり、これで何か問題があったんかなというのはちょっとさっき思ってたんですけど、確かに感情的な面もあったと思うんです。それはそこをどう我々冷静に受けとめられるかということも議員として試されるのかなということを思うんですね。

前回、私も大分住民投票の署名集めのことでやり玉に上がったんですけども、それは冷静に受けとめて反省すべきは反省するし、そしたら今回は同じ会場に来られた方も非常に冷静な質問されとって非常に僕も感心をしたんですけども、やっぱりそれは我々受けとめる側の対応の問題というのもあるのかなと。そこで激しくバトルし合うということも必要なのかもわかりませんが、内容を冷静に受けとめて判断するという姿勢もそういう議会報告会の中でいけば必要なかなというようなことを思いましたので、ちょっといらんこと言うたところもありますが、確かに裁判のことなので結果はわかりませんから答え

ようがないというのはそうなんですけども、これは常任委員会でも直近の常任委員会で質問されてたからこそ答えられたと。これは市民の関心にも答える内容であったし、筋も通った話であったので非常に印部委員も考えられて答弁したし、よく覚えておられたなということを筆記をしとって感心をいたしました。あえて申し上げておきます。

○柏木 剛委員長 阿部委員。

○阿部計一委員 継続を前提やけど、そんなんでなしに、今言いよんのん、そういう裁判ざたいのはもう司法へ移っとる。そんなことを議会報告会で言うて議論すること自体がおかしいし、負けたらどないすんねん、勝ったらどないすんねん、そんなこと議論する必要もないし、そやからそんなことも含めてね、きょう寄った議員だけ違うねんから、20人おる中で2回やった中でいろいろ批判的な人もおるし、やっぱりやるんであれば、こういう方法でいくとかいうふうに、ここで継続やいうことを決めるということはいかなもんかと思いますよ。

○柏木 剛委員長 久米副委員長。

○久米啓右副委員長 今の形で継続するならば、やはり課題が多いというんで課題たくさん出ましたよね。ですからそれを克服していかなければ今の形では継続については難しいということで、それを克服するということと、他の意見として広報広聴委員会での活動もあるという、それぐらいの私がまとめた言い方になってしまったんですけども、皆さんの意見を聞いてたら、はっきりと継続するという意見ではなくて、やり方としては方向性、何かまた別の意見もありましたというようなことでまた全員協議会で意見を聞いてみないとわからないかなと思います。

○柏木 剛委員長 わかりました。その感じで1回ちょっときょうの分をまとめてみます。

今の話でも継続するという方向であるということだけは必ずしも明確にするんじゃなくて、いろいろ課題が出ましたと。ついてはいろいろと司会者の役割、回答の方式、あるいは時期の問題、あるいは開催場所、沼島だけが地元要望聞くような場になっていいんか、ほかとのバランスの問題もあるよとか、その他いろいろ話が私も大分メモしましたので出ています。そんなことをいろいろまとめながら全協のほうで一度話を出してみると。一応反省事項、今回2回やっていろいろやった中で、きたことについて謙虚に話をまとめて、それで全協でいろいろ検討してもらおうと、次回以降、あるいは課題の克服についても検討してもらおうと。そんな格好のまとめを私やってみます。

時期としては、全協はこの２月２４日にあるんですけども、ちょっとそこには間に合わないと思いますので、議会中のどこかのタイミングを見て、今回の議会報告会での各会場意見、あるいはアンケートの意見、これらを一度整理して、この中には大分ダブっているような分も大分ありますので、その辺はうまくまとめながらひとつ整理した格好のものを正副委員長を中心にちょっと整理してみたいと思っているんですけど、その辺はちょっとじゃあ任してもらおうということによろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○柏木 剛委員長 そしたらいろいろ生の声がお聞きできたと思いますので、その辺を整理してまずは全協のほうに、議長のほうに出すんかわかりませんが、全協の場でもんでもらえるような、検討してもらえるような提言書と、それから執行部に対する要望とか、この辺についてまとめるような格好で動いてみます。今後については、そんなことでやっていきたいと思っています。

あと蛭子委員も言われました市民のフィードバックということ、何かこの声がどんなふうに生かされたかということについて、たちまちの市民へのフィードバックの面では広報紙のフィードバックが一番考えている範囲なんですけど、何かそれ以上に市民のフィードバックということについてこうしたらというのはありますか。何か個々のお名前も上がっているし、意見も上がっているんで、何かそのあたりもうちょっと踏み込んだアクションってあるんかどうか、広報紙に載せるので市民のフィードバックにしたということによろしんですかね、どうでしょうかね。これでええと思いますか。

印部委員。

○印部久信委員 とにかく今考えるのは、このフィードバックする場合には個人名は当然出ないと思うんですが、どういう会場でこういうふうの中のこういうふうになりますとかいう。

○柏木 剛委員長 はい、わかりました。

例えばあそこで何か文化体育館でいすを貸さなかったんですけども、今度注意しますとか対応しますという答えが回答しとるんですけど、実際にそれがどうなったとか、そこまでの分まで踏み込んだ回答というのは。

印部委員。

○印部久信委員 こういう元気の森とか、こういうところのいす云々いうやつは、実際にあったかどうか、そらあったんだろうけど、一遍委員長、広報にどういう形で載せるに

しろあったかどうかやっぱり確認しとかんといかんと思うねんけど。そういうふうなことがあったのか一遍確認をしとかんと、いろんな意見を載すのにそれでええけど、請け負うた人の思いつきで足元に地についてないことを言われとってまともに取り上げてフィードバックしよったら、これも大変なことですので、そういう微妙なやつは確認をしてもらわんといかんと思う。

○柏木 剛委員長 逆に原口委員にちょっと質問したいんですけど、前回は執行部に対する要望、議会に対する要望を取りまとめて、例えば総務常任委員会、文教常任委員会ということでまとめましたよね。出した以降の後のフォローといいますか、その辺はどんな感じになっていますか。

原口委員。

○原口育大委員 ちょっと余りよう覚えてないんですけど、ホームページに公表した内容と、数自体もそんなになかったので所管ごとにある程度分けたやつを質問だけですね、回答はなしで議会だよりとホームページに出したと。あと実施要綱があると思うんで、それに基づいて今から処理すると思うんですけど、だれがどこへ報告するかということも決まっとったと思うんで、委員長が議長に報告するんか、会場の責任者が議長に報告するんかとか、そういうのは要綱であったと思うんで、そこら辺を1回委員会で確認されて、今回については、そういう要綱どおりに処理すればええと思います。前回はそこまでしかしてないと思うんです。議長に提案した。執行部にできるものはやってくださいよと、こういう意見が出てましたということを議長から市長に送ったと。回答はもらってないような気がするねんけど、要望的な話になったと思うんですね。

○柏木 剛委員長 印部委員。

○印部久信委員 議会報告会において市民から議会に対する要望は、議会から要望をした時点でおおむねええん違うの。最終的にその答えはどうになりましたかということを出しよったら、言われたことは直ちにできるやつと長期にわたって時間がかかるものもあるさかい、最終的に要望はこうになりましたかという答えまで作らんなんのかな。

○柏木 剛委員長 原口委員。

○原口育大委員 多分今言われたようにしてないと思います。ただ、執行部に対してはこういう要望がありましたということをお聞いてきたわけなんで、議長のほうから市長サイドにこういう要望がありましたということをお伝えしたというところでとまってお

ります。ただ、それを各会場で議員個々に聞いとるんで、例えば知った人が発言しよったら、自分の所管でなかったもそれを直接担当課に言うていくような人も多分おると思うし、所管の委員会があったときにあの会場でこういう話があったんでという話は次の委員会等でも出ることもあると思うし、そういうことは特段個々に反映されとると思うんで、中にはおまはん言よったことはこないなつたでいう報告される議員もおるとは思いますし、それは特に統一したもんでないと思うんで。

○柏木 剛委員長 蛭子委員、そういう考えで大体おおむねオーケーですか。

○蛭子智彦委員 もちろんそれは多種多様なやり方があると。いずれにしてもそういう自分たちの言ったことが議会も動かし市政も動かしたという経験値がふえればふえるほどやっぱりこういう議会報告会というのは活発になるだろうと。本当にフィードバックのやり方も多種多様、いろんなやり方があるといいだろう。基本として最低やるべきことは、印部委員おっしゃったように、まとめる。そして原口委員がおっしゃったように、所管ごとに整理をしておく。委員会での議論の俎上にはのせておくと。ここはもう最低限大前提としてやるべきことであろうというふうに思います。

○柏木 剛委員長 そしたらばちばち閉会したいと思います。

この件につきましては、改革委員会としては、これは本筋といいますか、もっとメインの課題が議会基本条例という話が一番の大きなメイン課題ですので、この件につきましても一応今のような格好でまとめまして、またどこかの改革委員会を開いたときにまとめについてちょっと確認いただくような場をどっかで持ちたいと思います。そんなことで特にまとめにつきましては、正副委員長のほうに任していただきたい。いずれにしてもお諮りはしますので、そんな格好で進めていきたいと思います。

本日はありがとうございました。

次回24日まで、今度は議会基本条例のほうの話に入っていきますので、よろしくお願いします。

(閉会 午後 3時39分)

委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

平成 24 年 2 月 17 日

南あわじ市議会議会改革特別委員会

委員長 柏 木 剛